

ネットモラル授業指導案

西端小学校 第3学年3組

指導者 斉藤 由佳里

1 日 時 平成19年11月22日(木) 第5校時

2 主題名 絵本「青いかいじゅうと赤いかいじゅう」を使ったネットモラル理解

3 絵本選定の理由

子どもたちの日常生活でよくみられるのは、言葉の行き違いからくるトラブルである。「○○君が、ばかっていった。」「いってない。」といった会話である。相手の話には耳をかさず、自分の考えだけを伝えているため、自分たちだけではなかなか解決ができない。お互いの話をよく聞いていくと、「なんだ。そうだったのか。」と誤解がとけることがほとんどである。

顔が見えている相手とでも、誤解が生じることが多い。ましてや、この絵本のように相手の姿が見えない場合は、相手の立場や気持ちを理解する、想像する能力が必要である。今後、インターネットや携帯電話を使用するであろう子どもたちに、目の前にいない相手を思いやることの大切さをこの絵本を通して感じてもらいたい。

4 本時の指導

(1) ねらい

- ・想像しながら楽しく読み聞かせを聞くことができる。
- ・相手の立場や気持ちを理解することの大切さに気づくことができる。

(2) 準備 絵本「青いかいじゅうと赤いかいじゅう」

(3) 指導計画

	児童の活動	教師の支援と評価
導入 5分	1 児童の日記を聞く。	・けんかをした時や、気持ちが伝わらなかった時の日記を紹介する。
10	2 絵本のはじめ(場面設定)だけを聞いて、相手の姿を想像してみる。 ・とさかってなんだろう? ・どんな体なのかな? ・すてきな形のしっぽってどんな形だろう?	・「青いかいじゅう」チームと「赤いかいじゅう」チームに分かれ、目の前にいない相手の姿を想像することの難しさを体感させる。 ・困っているようであれば、ヒントを出させる。
20	3 絵本の続きを聞いて、考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">相手のことを、どう思っているのかな?</div> ・ばかっていったから、おこれた。 ・ねぼすけめっていわれて、むかついた。 ・口もききたくない。	・言葉の行き違いから気まずい関係になったところまでを読み、相手に対する気持ちを自分の言葉で書かせる。

	児童の活動	教師の支援と評価
<p>3 0</p> <p>3 5</p> <p>4 0</p>	<div data-bbox="264 259 847 315" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どうしたら、けんかにならずにすんだのかな</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・いけないと思ったときに、すぐあやまればよかった。 ・自分が言われるといやなことは、相手に言わないようにすればよかった。 <p>4 絵本の読み聞かせを最後まで聞く。</p> <p>5 教師の体験談を聞く。</p> <p>6 今日の授業の感想を書く。</p> <div data-bbox="264 689 847 857" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「青いかいじゅうと赤いかいじゅう」の絵本を勉強して分かったことや感想を書きましょう。</p> </div>	<p>(評) 自分の行動を振り返り、相手を思いやることの大切さに気づくことができたか。</p> <p>・携帯メールでの行き違いの話をする。</p> <p>(評) 分かったことや感想が書けたか。</p>